

事業実績報告書

様式 2
(2021年度)

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

講座番号	B-42	講座名	削れ難く保水力があり歩き易いウッドチップ散策路を作る
記載日	2022/3/20	団体名・企業名	名東自然倶楽部
〈講座全体の概要〉(300字程度)			
<p>人が歩く事により、削れてしまった散策路に、木や竹のチップを敷設する事により、削れにくく、保水力のある、歩き易い散策路にできます。毎年、竹藪が拡大する対策として数千本の竹を伐採しています。又、危険な樹木も伐採しています。伐採した竹や木を積み上げる為、植物が生えないゴミの山が出来てしまっています。</p> <p>これらを粉碎して散策路に敷設すると、ゴミを資源に変え、このような問題を解決する事ができます。竹伐り体験、粉碎機による木や竹の粉碎を見学して、そのチップを散策路に敷設する体験をします。その後、チップを敷設した散策路と敷設していない散策路を比較しながら散策します。</p>			
			
※写真1の説明		※写真2の説明	
粉碎機で竹を粉碎している(2月19日、猪高緑地)		粉碎したウッドチップを敷き均している(1月15日、猪高緑地)	
〈企画・運営者の声(感想)〉(350字程度)			
<p>①コロナの影響で、開催日直前に、キャンセルする家族連れがあり、各回の人数が4-11人と少なかった。参加人数が少なかったので、スタッフからくわしい説明ができ、いろいろな体験をしてもらう講習会を実施することができた。</p> <p>②竹林管理をするグループ10人が、講座に参加した。竹の有効利用に興味があり、粉碎機の仕様、粉碎したチップの利用方法についての質問が多くあった。今後も、情報交換をしていきたい。</p> <p>③近くの高校の先生3人が講座に参加した。「是非、生徒に体験させたい」との事でしたので、今後、高校生の体験学習に協力していきたい。</p>			
〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3~5点、計350字程度)			
<p>①竹チップの作り方とその効果について、よく理解できた。</p> <p>②広い猪高緑地をしっかりと管理しているのに、驚きました。</p> <p>③猪高緑地の歴史、環境についての説明がよかった。</p> <p>④竹刈り、ウッドチップ敷設が楽しかった。</p>			